

ICANNルートサーバー諮問委員会 (RSSAC)関連報告

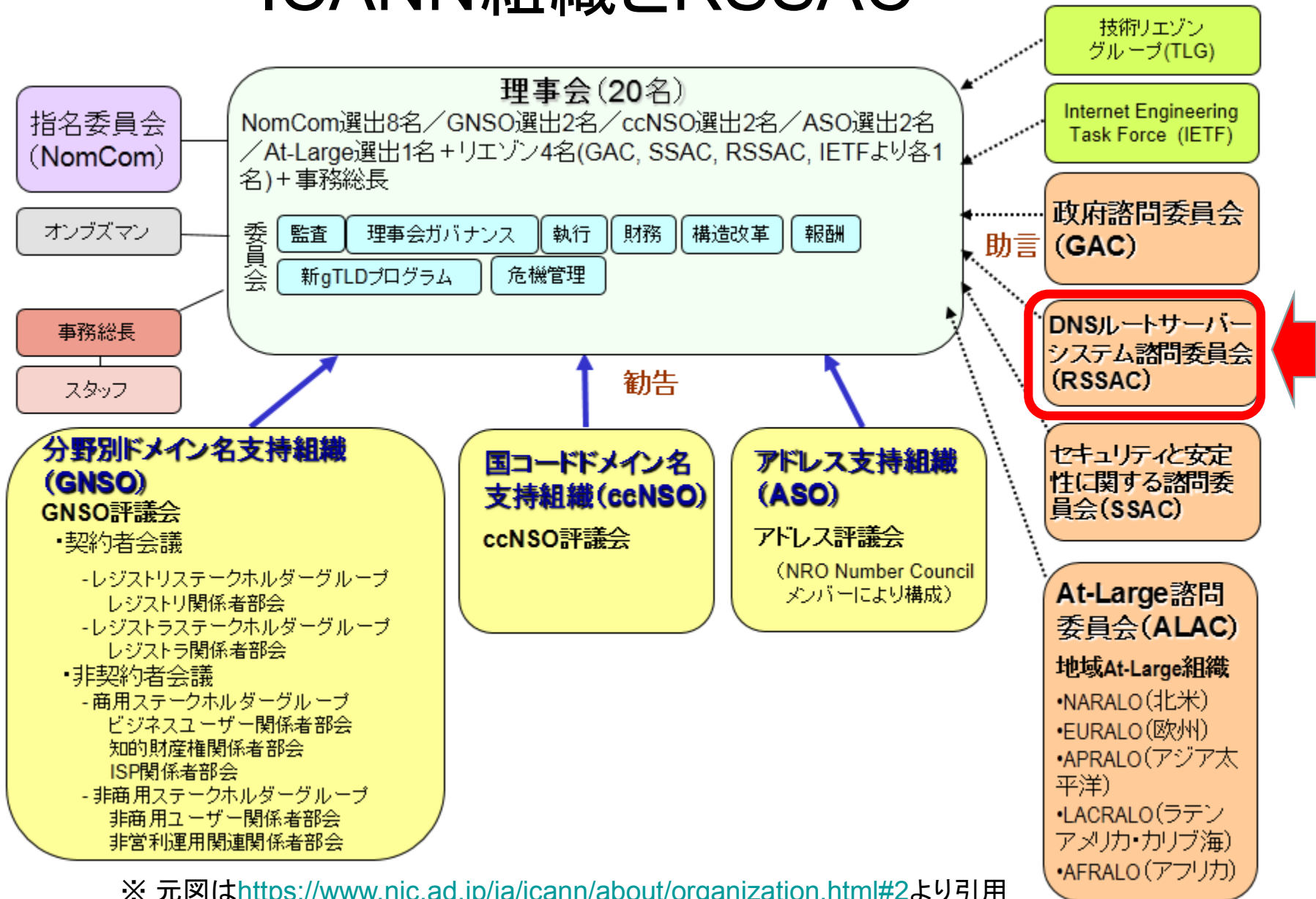
第45回 ICANN報告会

2016年3月30日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文 <hotta@jprs.co.jp>

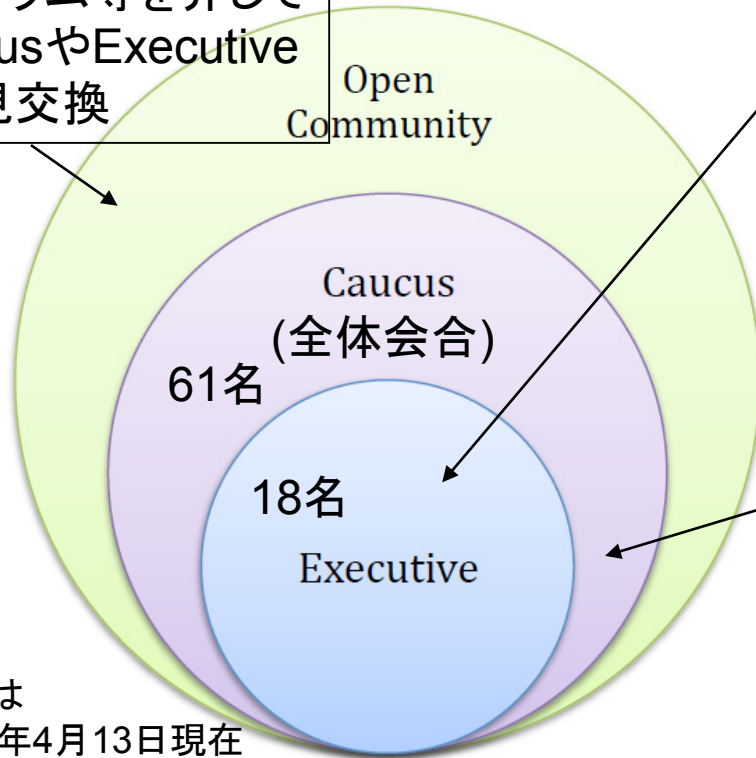
ICANN組織とRSSAC



※ 元図は<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/about/organization.html#2>より引用

RSSACの構造

パブコメ、パブリック
フォーラム等を介して
CaucusやExecutive
と意見交換



人数は
2015年4月13日現在

ICANN構造上正規に定義されたRSSAC

- A~Mルートサーバーオペレータから各1名
- ICANN(IANA部門)から1名
- Verisign(ルートゾーン管理)から1名
- NTIAのIANA関連部門から1名
- IABリエゾンから1名
- SSACリエゾンから1名
- ICANN理事会リエゾンから1名

- RSSACの役割を果たすための検討、
文書作成を行う専門家の集合
- メンバは自薦し、RSSACが任命
(基本姿勢：貢献希望者の参加は拒まず)

チェア2名



Tripti Sinha
メリーランド大学
D-root



2016年1月就任
Brad Verd,
Verisign
A-root, J-root

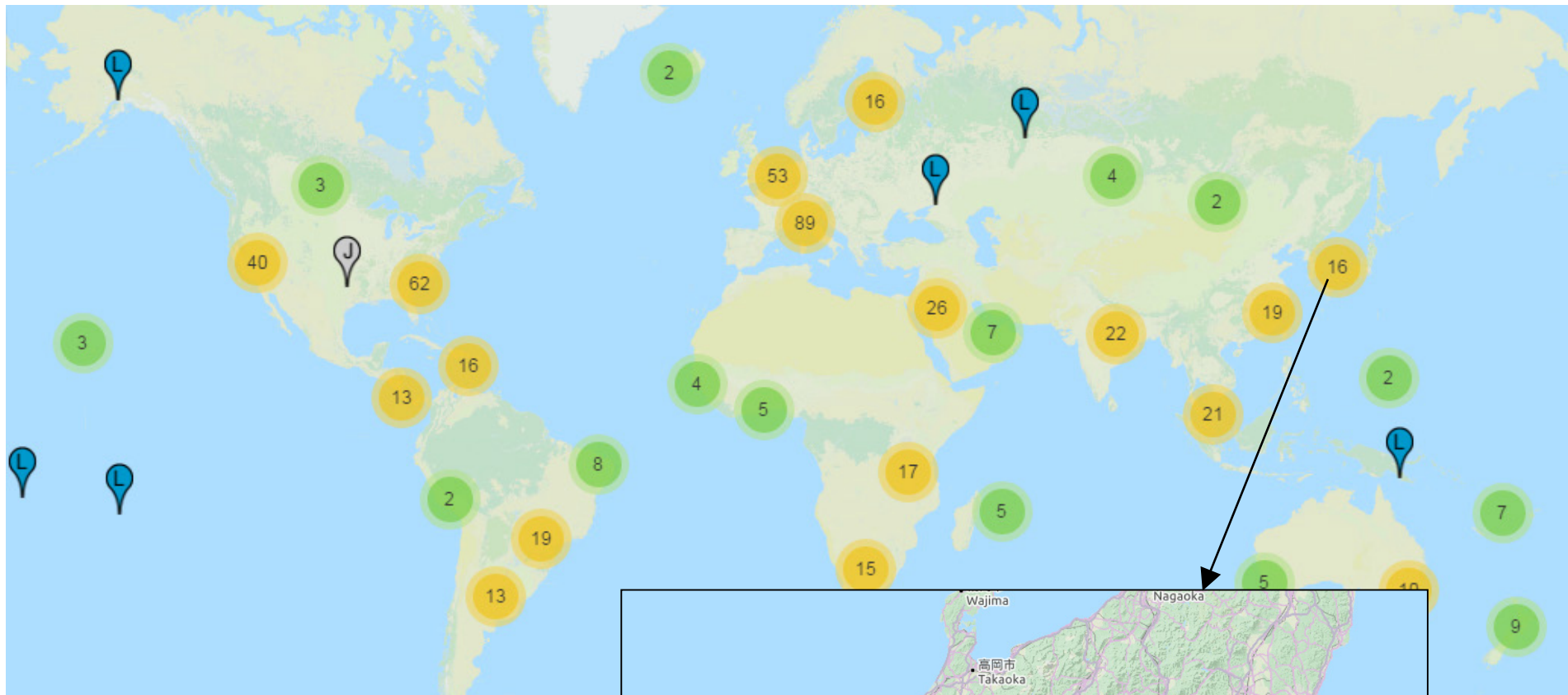
ルートDNSサーバーの概要

- 複数の組織で運営 (A~Mの13系統で負荷分散しかつ冗長構成)。また大部分の系統ではAnycast*技術を使用してシステムの複製を世界に分散配置。

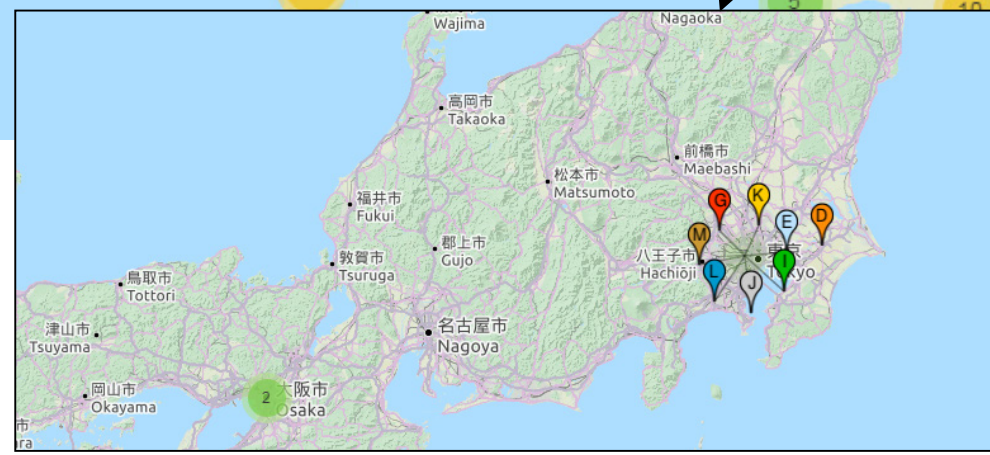
* Anycast : 1つのIPアドレスに対し分散配置した複数のサーバを割り当て、負荷分散し、かつ冗長度を上げる技術

ルートサーバ	運営組織	ルートサーバ	運営組織
A	Verisign社	H	米国陸軍研究所
B	南カリフォルニア大学 情報科学研究所	I	Netnod (欧州大手IX)
C	Cogent Communications (大手通信業者)	J	Verisign社
D	メリーランド大学	K	RIPE NCC (欧州全体のIPアドレス管理組織)
E	NASA研究所	L	ICANN
F	Internet Systems Consortium (DNSソフトウェアBINDの開発元)	M	WIDE+JPRS
G	米国防総省ネットワーク情報センター		(スウェーデン オランダ)

ルートDNSサーバーの世界的配置



<http://www.root-servers.org>より



RSSACからの公開文書

- RSSAC001
 - ルートサーバーのサービス内容について
 - ステークホルダーが期待してよいサービスの内容
- RSSAC002
 - ルートサーバーシステムに関連する計測について
 - ほとんどのルートサーバーは、その計測値を公開
- 第1回RSSACワークショップレポート
 - RSSACメンバーのみによる集中審議(2015年9月23-24日)
 - 内容は次スライド参照
- ルートサーバーのヒストリーレポート (予定)
 - 各ルートサーバーの運用者、システム構成の経緯の概要
 - RSSAC Caucusで最終確認中

ルートサーバー総体のあり方議論

- ルートサーバー全体としての信頼性確保の要素
 - アカウンタビリティ
 - 継続性
 - 進化
- 多様性(ダイバーシティ)が重要
 - ファンディング
 - 運用モデル
 - ガバナンス構造
- 今後、RSSACワークショップでさらに議論
 - 13のうちいくつかが止まってもインターネット全体にとって問題を生じさせないことの表明と解説
 - 運用組織の資格と組織入替え手順のドキュメント化
 - 核となる技術の維持と進化のあり方

Q&A